



田んぼコード

同じ人が作っていても、田んぼが違えば別々です。

生きものの元気米は平成27年より、田んぼにそれぞれコードをつけています。「田んぼ一枚ごと」に管理しているので、栽培している農家さんが同じでも、田んぼが違えば別々に管理しているためです。これを見れば「誰が、どこの田んぼで作ったお米か」がわかり、農家さんも「これは自分が作ったお米」とはつきり言い切ることができます。生きものの元気米のしくみを明確にするものです。



田んぼごとの情報、生きものの記録

生きものの元気米では、栽培期間中に田んぼごとに生きもの調査を行い、その結果を田んぼごとの栽培状況とともに、パツケージやホームページで公開しています。毎年、生きものの記録が積み重ねられ、地域の生きものの様子が記録されます。

農作業を頑張る農家さん、生きものの元気米を食べて応援してください。みなさま、作業に応援参加してくださるみなさま、生きものの元気米の取り組みをすすめる河北潟湖沼研究所、みなで活動を続ける成果として、生きものが増えていく様子をお伝えできるよう、これからも調査を続けていきます。

生きものの元気米・五つの特徴

- 特徴 1. 畦で除草剤を使わずに栽培されている。
- 特徴 2. ネオニコチノイド系農薬等殺虫剤の空中散布をしていない。
(浸透性殺虫剤ネオニコ等不使用)
- 特徴 3. 栽培期間中に田んぼの生きもの調査がおこなわれている。
- 特徴 4. 生きもの調査の結果は田んぼごとに公開されている。
- 特徴 5. お米は田んぼ一枚ごとに管理されている。



生きもの
元気米



shop

NPO法人河北潟湖沼研究所

平成29年 3月発行

〒929-0342 石川県河北郡津幡町字北中条ナ9-9 TEL 076-288-5803 / FAX 076-255-6941

E-Mail kome@kahokugata.sakura.ne.jp

生きもの元気米 http://kahokugata.sakura.ne.jp/~kimonogenkimai/index.html

ネットショップ http://kahokugata.cart.fc2.com/

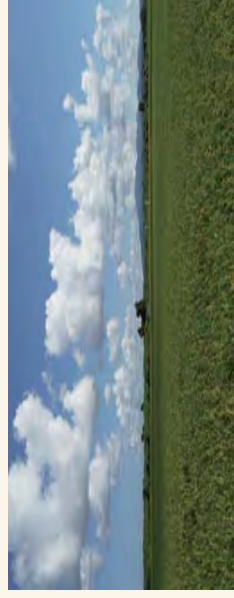


このパンフレットは地球環境基金の助成を受けて制作しました。

生きものの元気米2016

作る人、食べる人、田んぼの生きもの、みんな元気に

生きもの元気米通信特別号



圃場の面積

平成26年
10,834m²

平成27年
19,344m²

平成28年

21,139m²

圃場の数

平成26年
4枚

平成27年
7枚

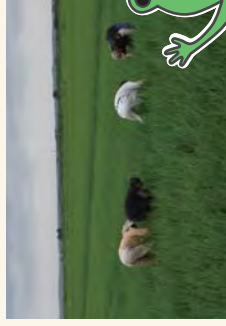
平成28年
8枚

参加農家数

平成26年
4軒

平成27年
6軒

平成28年
5軒



河北潟湖沼研究所が田んぼごとにお米を認証する生きもの元気米の活動は、開始してから約3年がたちました。一つの圃場(田んぼ:OSa159)は、今年からレンコン栽培に切り替わりました。生きもの元気米を始めた年から無農薬でお米を作っていた田んぼですが、レンコン田となった今年も、農薬不使用で栽培されています。生きもの調査で圃場の状態を見ながら、薬はできるだけ使わない、という農地を増やし、そこで栽培された農産物を「生きもの元気農産物」として、作る人、食べる人、農地の生きもの、みんなが元気になるように広めていければと思います。

2016年の夏には、農薬不使用の生きもの元気米田んぼ(OSa7475)へ、ボランティアの方々による除草作業の応援も行われました。農地の生物多様性を保全したい、農家さんを元気にしたい、安心して食べられる農産物を届けたい、そうしてはじめた生きもの元気米の活動ですが、現在継続できているのも、参加してくださる農家さん、応援してくださるボランティアの方々、そして生きもの元気米を選んで食べてくださるみなさまのおかげです。ありがとうございます。これからも生きもの元気米をよろしく願っています。

